

米子市公共下水道事業ウォーターPPPに係る マーケットサウンディング（第1回）



米子市イメージキャラクター「ネギ太とネギ子とネギボ」
3人合わせて「ヨネギーズ」

第1回アンケート調査結果の概要について

米子市上下水道局
(下水道事業)

1. アンケート結果の公表及びマーケットサウンディング(第2回)について

米子市では、民間の経営ノウハウや創意工夫等を活用した新たな官民連携方式「ウォーターPPP」の導入可能性に係る調査を行っています。

本市の下水道事業の持続的かつ効率的な運営に向けて、ウォーターPPPをはじめとする官民連携を促進していくことを目的として、本市の事業に関心のある民間事業者向けの「説明会」を令和6年11月19日に開催し、アンケート調査を実施しました。

当日は会場参加及びweb参加で全45社ご参加いただき、34社もの企業からアンケートの回答をいただきましたので、概要について公表します。

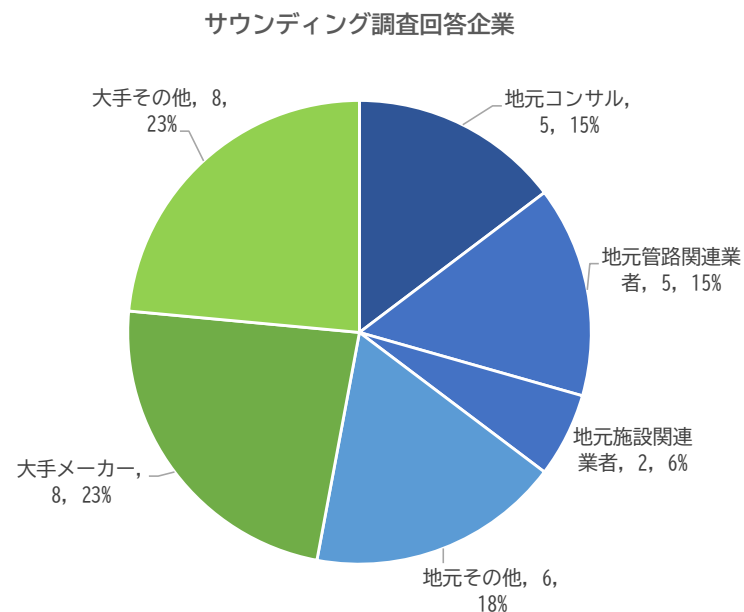
なお、アンケート結果等を踏まえ、米子市公共下水道事業ウォーターPPPに係るマーケットサウンディング(第2回)を令和7年3月25日(火)に開催する予定です。

(参加申込等詳細については市HPにてご案内します。)

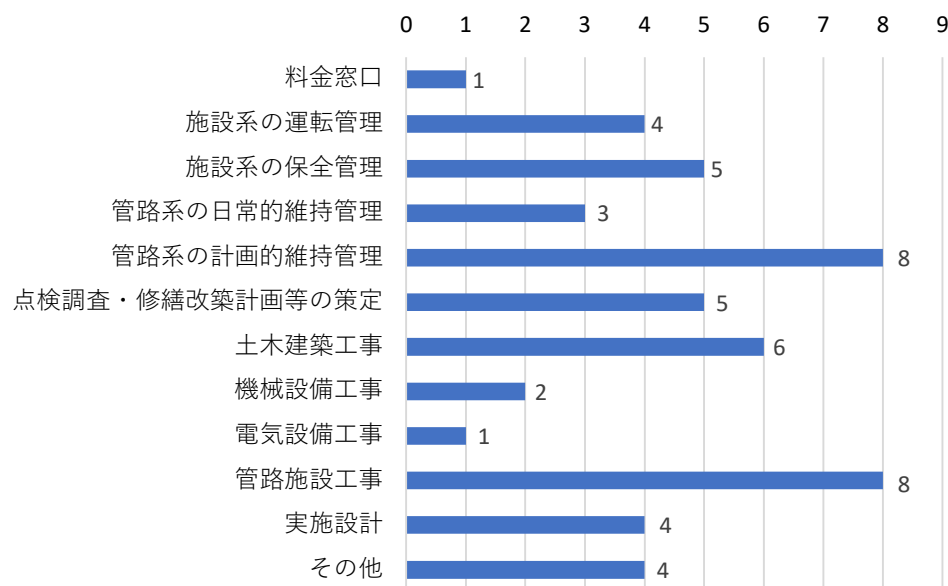
2. 回答企業について

- ◆ 回答企業数は34社、そのうち地元企業は18社、それ以外の大手企業は16社であった。
- ◆ 地元企業を業種別で見た場合、「その他」（複数業務を実施、メンテナンス）が多く、次いで「管路関連業者」と「コンサル」からの回答であった。
- ◆ また、地元企業は管路に関する分野（工事・計画的維持管理）の回答が多かった。

【調査回答企業の分類】



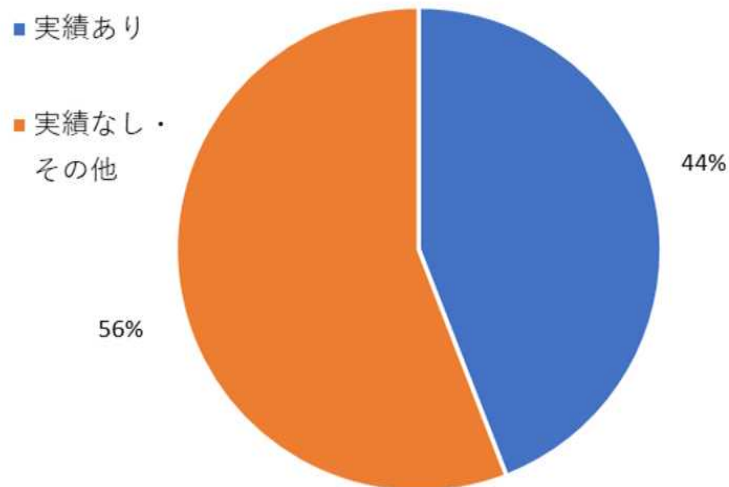
【地元企業が対応可能な業務分野】



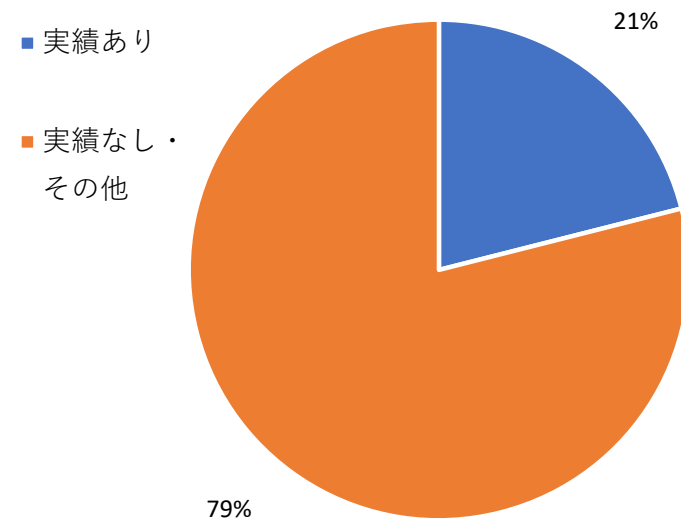
3. 回答企業の官民連携手法（PPP/PFI）の実績について

- ◆ 回答企業数のうち、官民連携手法がある企業は全体の約44%であった。
- ◆ 一方、地元企業をみると、官民連携手法の実績がある企業は約20%で、実績がない企業が多い状況であった。

【全企業（大手＋地元）】



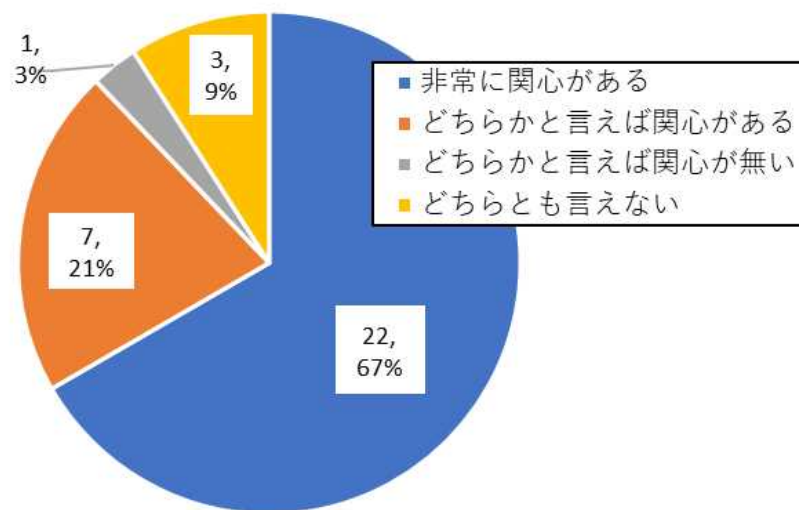
【地元企業のみ】



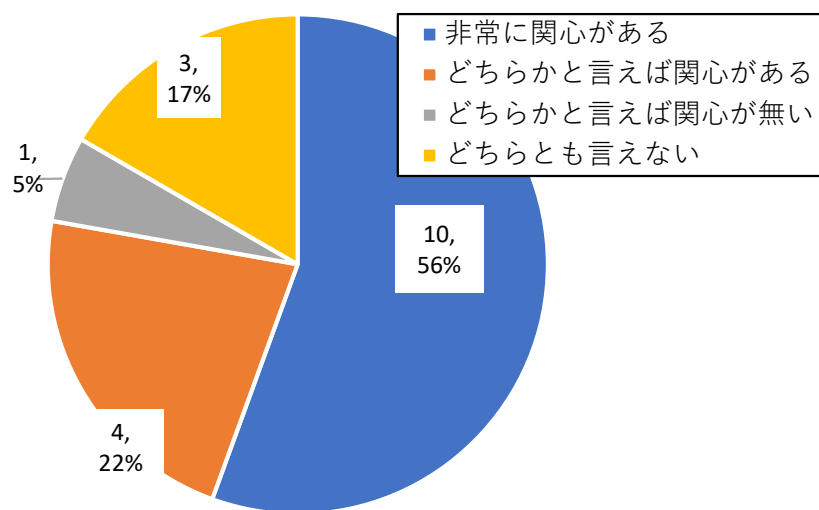
4. ウォーターPPPに関する関心について

- ◆ 関心度合いに関しては、回答企業数の88%が本市のウォーターPPPに関心を持っている状況であった。
- ◆ 地元企業の関心度合いについては、78%の企業が関心を持っている一方で、「関心がない」+「どちらとも言えない」と回答した企業が地元企業にあった。

【全企業（大手＋地元）】



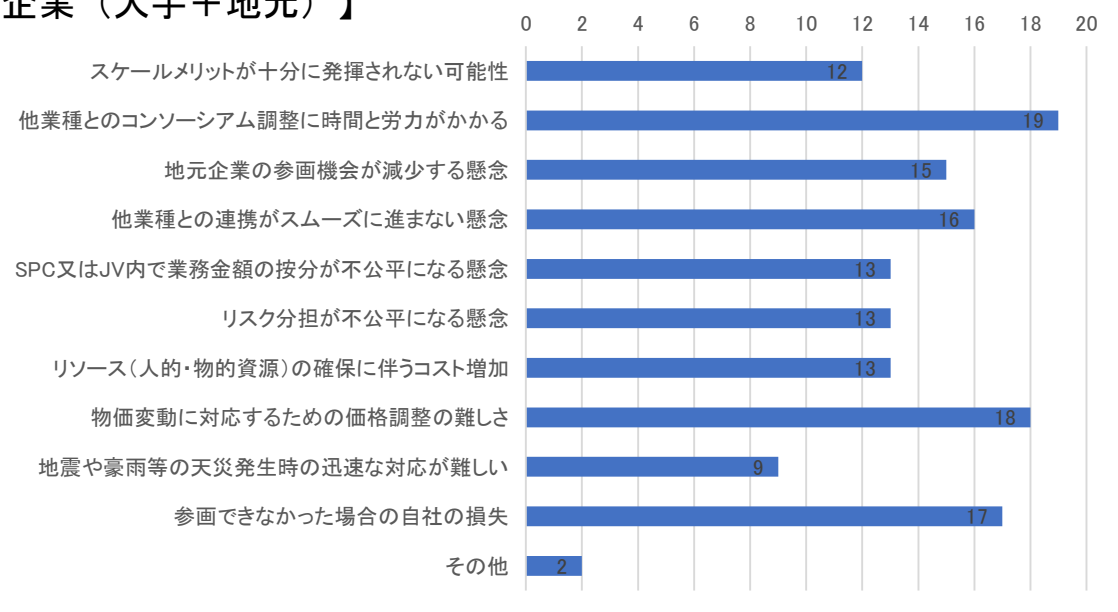
【地元企業のみ】



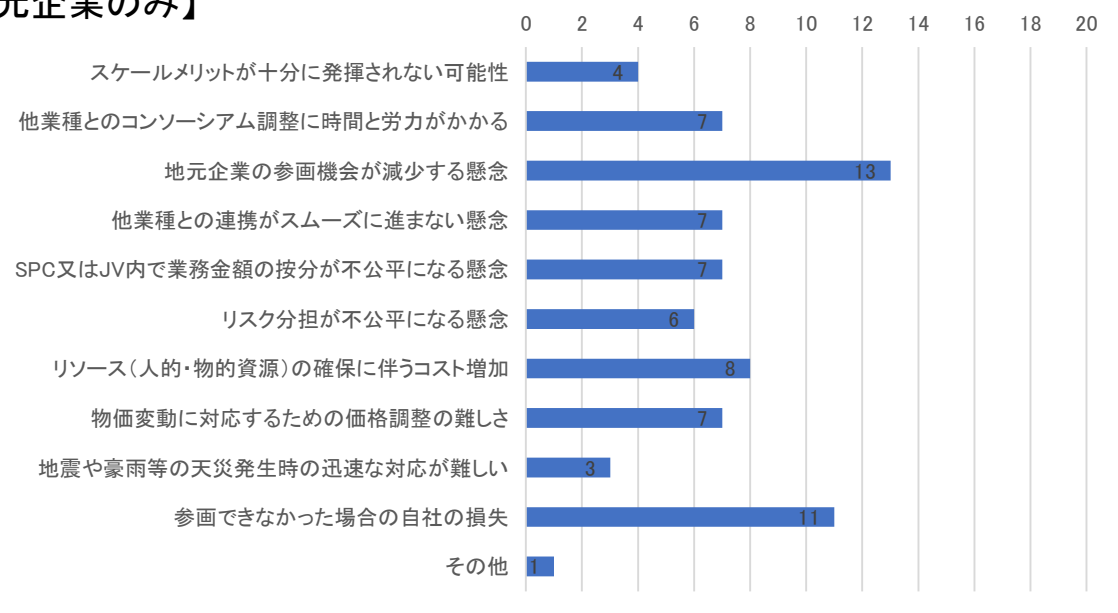
5. ウォーターPPPに関する懸念事項について

- ◆ 懸念事項に関する意見は右図のとおりである。
- ◆ 地元企業に関しては、「(下水道事業への)参画機会が減少する」、「参画できなかった場合の自社損失」に関する懸念の意見が多数みられた。

【全企業（大手＋地元）】



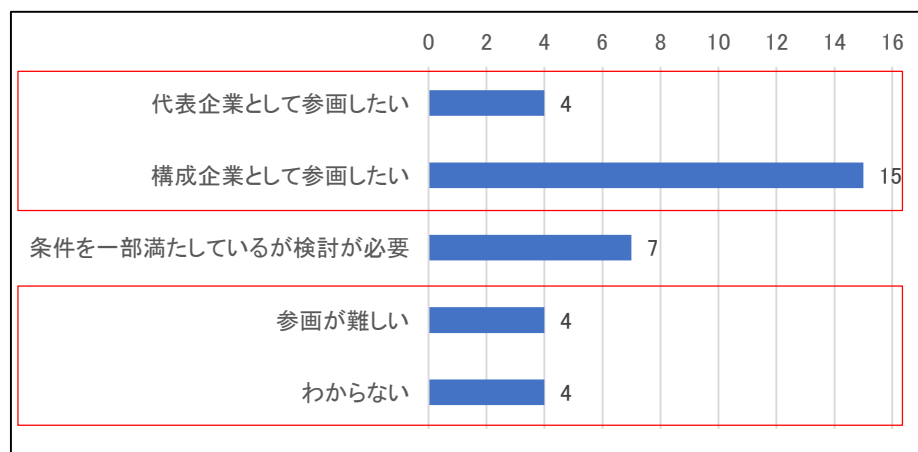
【地元企業のみ】



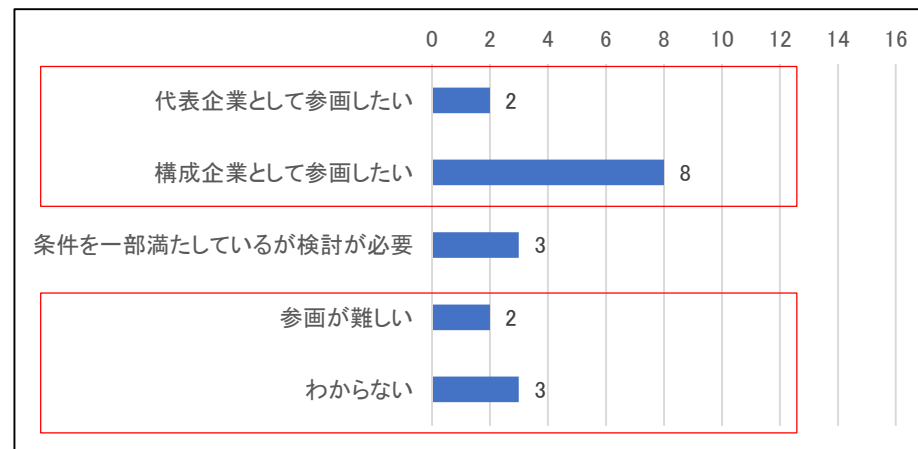
6. 米子市ウォーターPPPへの参加意欲について

- ◆ 参入意欲に関しては、19/34の企業より参画したい旨のが回答があり、地元企業も、10/18と同様であった。
- ◆ 一方で、「不参画」又は「わからない」と回答した企業が8社(地元企業のみでは5社)であった。

【全企業（大手＋地元）】



【地元企業のみ】



7. 米子市ウォーターPPPの業務範囲について

- ◆ 民間事業者の分野により、様々な意見があった。
- ◆ 地元企業からは、管路に係る企業が多いこともあり、管路工事やメンテナンスを従来通り仕様発注を継続してほしい要望や、ウォーターPPPから更新工事を除いた「更新支援型」を希望する声が見られた。一方、処理場に関しては、大手メーカーからの意見等を中心に、プラント設備を対象とした「更新実施型」を希望する声が見られた。
- ◆ 農業集落排水事業に関しては、地元企業の意見として半数が賛成との回答であった。
- ◆ 他都市との連携による広域化に関しては、約4割近い企業から賛成意見があったが、どちらともいえないとの回答が多い結果であった。

